

平成24年度第4回兵庫労働局公共調達監視委員会議事概要

平成24年度第4回公共調達監視委員会を平成25年1月21日（月）に兵庫労働局会議室において開催しました。

その審議の内容は下記のとおりです。

1 審査対象期間 平成24年10月1日～平成24年12月31日

2 公共調達審査会審議結果報告（公共調達審査会委員長）

平成25年1月9日に開催しました公共調達審査会は、委員3名の出席により、対象期間が平成24年10月1日から12月31日の間の契約締結案件15件を審議した結果、全案件について、適正な処理であると判断しました。

3 抽出結果の報告（抽出担当委員）

抽出担当委員より、対象期間は平成24年10月1日から平成24年12月31日まで、対象案件15件全てを審議の対象とする報告がなされた。

4 対象案件の審議

対象案件15件はすべて競争入札によるもので、事務局から公共調達監視委員会審議対象一覧に沿って各案件を説明。

委員 競争入札・公共工事3番のデマンド監視装置設置工事について、デマンド監視装置とはどのような機器で、設置による効果はどのようなものですか

局 使用電力量を計測・監視し、電気料金を抑えることが期待できる装置です。使用電力量の目標値設定を行うことにより、設定したピーク時の電力量を超過する前に警告音で知らせ、最大使用電力量をコントロールすることができます。これを有効に活用することにより、ピーク時の使用電力量を抑制し、基本料金を下げることができます。また、節電に対する意識を高める効果もあります。

委員 競争入札・物品、役務等の4番、5番の電力需給契約について、金額単位の後に「外」と表示されているのはどういう意味ですか。

局 @1, 685.25は基本料金単価で、「外」は夏季使用料金単価及びその他季節使用料金単価です。この3本立ての各料金で単価契約を行いますので、この表示をしています。

委員 予定価格はどのように算出しましたか。

局 平成24年度当初の公開されている他局の電力需給契約の入札結果状況を見ますと、電力量が厳しい中で、電気事業者は新規契約の開拓が困難な状況にあることから、これまでの契約を確保することに重点が置かれているようで、こうした事情から落札率100%や予定価格を上回り、不落となりやむを得ず、随意契約を行った案件がありました。また、一般電気事業者の電気料金値上げ申請もあり、こうした背景があるため、管内の一般電気事業者の関西電力㈱が公表している高圧受電施設の料金単価を予定価格としました。これにより、入札金額は予定価格を下回ることが期待できると判断しました。

委員 正に予想したとおりの入札結果となったのですね。

局 そのとおりです。

委員 予定価格は関西電力㈱の価格というわけですね。この価格を下回ることを期待した意思表示でもありますね。

委員 競争入札・物品、役務等の2番の大卒等求人出張システム一式の購入契約について、このシステムは大学から職業相談の依頼があればハローワークの求人情報が閲覧できるシステム機器を持ち込んで相談を行うためのものですか。

局 そのとおりです。大学における職業相談に活用するもので、外部記憶媒体にある求人データをタブレット型PCに接続して使用します。従来は紙ベースの求人閲覧でしたが、この機器は求人情報の検索機能もあり、利便性が格段に向上します。

5 審議結果（委員長）

本日、審議を行った案件について、特に不適切又は改善すべきと思われる点はなかったと思いますが、両委員ともご異議ありませんでしょうか。

（「異議なし」の声）

それでは、運営要綱第5条第4項のとおり、委員の多数をもって決したと認めます。

また、運営要綱第5条第2項により、本日の審議内容を兵庫労働局長へ報告するとともに議事の概要を公表（ホームページへの掲載）することとします。

6 閉会